

成 27 年 第 12 回 教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

招 集 日 時 平成 27 年 10 月 26 日 (月曜日) 午後 1 時 30 分開会 / 午後 2 時 40 分閉会
招 集 場 所 市民会館 2 階 第 2 会議室
出 席 委 員 上田政憲、中西修一、酒谷百合子、山下裕嗣
会 議 列 席 者 掛山事務局長、山田次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、中田スポーツ課長、
田嶋文化財保護課長、河崎屋中央図書館長、柏田山中図書館長、奥村マラソン開催推進室長、
岡澤文化振興室長、渡部教育庶務課長補佐

上田委員長 平成 27 年第 12 回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

本日、山下教育長はお葬式出席の為、急きょ欠席になりました。残り委員4人でよろしくお願ひいたします。

このところ日中は良いお天気が続きまして大変気持ちのいい秋を迎えていると思いましたが昨夜は少し寒かったですね。先週3日続けて小学校への訪問がありまして、お天気も良いので子どもたちは本当に元気に楽しく学校生活を送っている様子が見られて、本当に良かったと思います。

特に小学校みたいな無垢な姿を見ますと、こちらにも穏やかな気持ちになるといいですか、良いものだなとつくづく思いました。

16日は県の市町教委連合会の研究大会もございまして、大変ご苦労様でした。

では、本日の会議に入りたいと思います。審議事項は、前回からの継続審査になっておりました。

議案41号、梶谷課長お願いします。

梶谷課長 はい、報告第30号も合わせて説明させていただきます。

- 議案第41号 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について (継続審査)
梶谷課長 資料に基づき説明
- 報告第30号 点検及び評価にあたっての教育に関する学識経験者の知見の活用について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 庶務課の方から順にお願いしたいと思います。

26年度に教育委員会が行った事業はすべて網羅されていますので、良い機会だと思いますのでお願いしたいと思います。

各課	資料に基づき説明
教育庶務課	梶谷課長
学校指導課	山田次長
生涯学習課	西出課長
スポーツ課	中田課長
文化財保護課	田嶋課長
観光交流課	岡澤室長
まとめ	掛山局長

上田委員長

確かに内部評価ですから、評価基準を作るのも自分たちですし、それに基づいて評価するのも自分たちですから、そのあたりは原点に戻ってといたしますか、冷静な立場で自分自身を評価しなければならないという苦しい立場になります。

先ほど説明がありましたように田邊先生の、いろいろ注文をつけてくださっている項目については、素直に受け入れて来年度また良いものに仕上げたい。その上で、PDCAサイクルをきちんと守っていくということが、この評価の大事な所なのかなと思います。

今ほど各担当課から報告をいただきましたが、委員の方で何かお気づきのこと、あるいは申し上げたいこと、疑問なところございませんか。

大変、膨大な量でしたので、なかなかじっくり時間をかけて見るというのは難しかったかもしれませんが、何かありませんでしょうか。

田邊先生のご指摘にもありましたように、昨年通りのものというのも、見受けられまして、1年間何も活動しなかったように思われてもいけませんから、文章を変えたり、形を変えたりというのは、前向きにとらえるという意味でも大事なことはないでしょうか。

あと、少し細かい文言の修正があるにはあるんですが、これはまた後ほど、事務局のほうで修正をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

これは、審議事項でございますので、ご承認される方は挙手をお願いします。

委員

全委員挙手により可決（山下教育長欠席）

では報告案件にまいります。報告第31号、掛山局長お願いいたします。

- 報告第31号 任期満了に伴う教育委員の選任について
掛山局長 資料に基づき説明

上田委員長

1期、4年間ということで、まだ1か月足らず残っておりますが、大変貴重な経験をさせていただいたと思っております。来年で70歳になりますので、年齢的にも肉体的にもハードという部分もありまして、1期4年と言う1つの任期の区切れがくるわけで、事情が許すなら退任させていただこうと思っておりました。

11月22日以降は新しい教育委員さんを迎えて、加賀市の子どもたちの為に頑張りたいと思います。

● 報告第32号 第8回雪のデザイン賞(2015)入選作品・表彰式について
岡澤室長 資料に基づき説明

- 上田委員長 雪のデザイン賞について何か質問はございませんか。
これは毎年でしたか。
- 岡澤室長 各年で、2年毎です。
- 掛山局長 前回から、応募は増えましたか。
- 岡澤室長 少し増えています。
- 掛山局長 ラネージュ賞というのは、韓国の化粧品会社でアモーレパシフィックという会社があるのですが、ラネージュが雪と言う意味なのなのですが、その関係で雪の科学館に協賛をいただいて30万円の賞金をいただいているというわけです。
- 中西委員 応募された作品のうちの賞が6点ありますけども、このデザインというのは商標登録のマークになったり、そういった活用のされ方はあるんですか。
- 岡澤室長 今年も、まだ考えてないのですが、実際このデザインを活用しているところなどで展示するとかっていうふうなことを考えていかななくてはならないなどは考えております。商標登録とかそういうふうなところまでは至りませんので、展示とかの形でみなさんにお知らせしていこうと考えております。
- 上田委員長 他ございませんか。なければ、よろしく願いいたします。
報告第33号、梶谷課長お願いいたします。

● 報告第33号 第4回加賀市議会定例会(12月)会期について
梶谷課長 資料に基づき説明

- 上田委員長 では、その他にまいります。
1つ目、梶谷課長お願いします。
- 上田委員長 2つ目、西出課長お願いいたします。

● 加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について
梶谷課長 資料に基づき説明

- 上田委員長 2つ目、西出課長お願いいたします。

● オーケストラアンサンブル金沢メンバーによるスクールコンサートについて
西出課長 資料に基づき説明

- 上田委員長 去年からスタートしたんですね。
では、3つ目、山田次長お願いいたします。

● 加賀ロボレーブ国際大会について
山田次長 資料に基づき説明

上田委員長 昨年アメリカのニューメキシコ州で行われた国際大会、市長さんも教育長さんも行って来られたというのが、大きく新聞に取り上げられていましたけれども、これは第1回目なんですか。

掛山局長 日本では第1回目です。

上田委員長 1回目ですか。そういう意味では、すごい大会なのかなと思いますけども。何か今の説明で質問等ありませんか。

中西委員 加賀市以外の日本国内のチームは参加しますか。

山田次長 能美の子どもが参加します。加賀市の子どもと一緒に連合チームで参加するという話は聞いております。

中西委員 県外はいないのですか。

掛山局長 ロボレーブと言うのは、事前に説明会をしないといけないのです。日本国内でそれができているのは加賀市だけということで、ここから一歩ということで来年から少し広げていきたいと。県外の方にもPR活動をロボレーブの団体の方がそれをやっていくということで、それをできたのが、まだ加賀市だけなのです。ということは、県内のチームしか、泉丘の高校のチームも参加するというふうに聞いていますので、大聖寺実業はたくさんでるのですけども、去年も泉丘は手伝っていただいています。県外にはまだいっていないので、第2回大会でさらにこれを倍、その次はさらに倍というようにしていきたいと、商工振興課の方ではそういうプランを立てております。今年も加賀市中心です。

山田次長 まだ広く認知されていないです。

掛山局長 アメリカでは大きい大会ですが、日本ではまだ広く認知されていません。

中西委員 本拠本元はアメリカなのですか。

掛山局長 アメリカです。ただ、大会は中国でも開催されておりますし、アジアの大会の一部ということですよ。

梶谷課長 補足ですが、ロボットで面白いのは、普通プログラムを組みますね。そうすると、モーターの出力が右左100:100なら真っ直ぐ進むはずで、プログラムするんですけども、モーターの差っていうのが出るのです。同じ性能のモーターがないので100:100ですと曲がってってしまうのです。だから、そこを実動に合わせて強い方を弱めなければ、まっすぐ進まないというプログラム。あと、電池の強さ、消耗具合によってプログラムが変わってくる。すごく現実的なことで、理論だけではなく現実のものということが入ってくるんで、それに対応できる力が必要。プログラムの言語が大人よりも子どものほうが、はるかに早く覚えられるという、そういう面白さもある大会です。

上田委員長 加賀市の子供たちはたくさん出られるらしいのですけども、その準備というのは。

山田次長 説明会の時に各学校の担当の先生に来ていただきまして、その時に機械とプログラムをお渡しして、稲木さんという先生に講師をお願いして各学校で練習して、作戦を練っているようですけども、多い学校は12、13チーム出る学校もあります。

上田委員長 1校で。

山田次長 1校です。そういう熱の入っている学校もあるのです。

上田委員長 他に何かありませんか。

酒谷委員 たくさんのチームが出ますけど、一斉に同じ種目に対して一斉に競うのですか。

山田次長 3種目にそれぞれ場所がありまして、予選と言う時間内に10回までトライできて、その記録が上位何チームかに入ると最終日の午後の予選通過の決勝トーナメントにいけないということで、それぞれトライしているというやり方です。

3種目挑戦するチームもあれば1種目だけというチームもありまして、それぞれ違います。

上田委員長 次にまいります。その他ありませんか。

奥村室長 加賀温泉郷マラソン2016について
今月1日から募集を開始いたしまして、今日現在で737名の申込みをいただいております。目標は、4800という数字を掲げておりますので、あと約4000獲得したいと。10月11日は全国的にマラソン大会ピークの時期ということもありまして、週末になりますと色々な大会に私たちも出向いてチラシを大会参加者に配ったりしています。またチラシをまくだけではなく、今年は実際にスタッフが大会に参加して走りながらPRしようということで、Tシャツも作りまして11月1日にはお隣の富山で第1回の富山マラソンがありまして、そこに1名参加します。3週間後になりました金沢マラソンにも2名参加しまして、ランナー目線でもいろんなものを吸収して、それを加賀温泉郷マラソンにも反映させていきたいと思っております。そういった形でPR活動をしてまいりたいと思っております。

上田委員長 申し込みが殺到すると良いですね。

他にありませんか。

ないようですので、次回の予定を梶谷課長お願いします。

梶谷課長 11月24日の火曜日、4時からの定例会でお願いしたいと思っております。

会議2で予定しております。

上田委員長 他に何かございますか。なければ、第12回定例会を終了いたします。

ご苦労様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。